

1. 件名：濃縮廃液上澄み水の対応状況及び地下水・雨水等流入量の算出方法に係る面談
2. 日時：令和5年11月1日（水）13時30分～15時00分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部 東京電力福島第一原子力発電所事故対策室

澁谷企画調査官、正岡企画調査官、大辻管理官補佐、佐藤室長補佐、松田室長補佐、
元嶋専門職、横山係長

福島第一原子力発電所規制事務所

松沢原子力運転検査官（テレビ会議システムによる出席）

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

福島第一原子力発電所 担当1名

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー

担当3名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

○東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、資料に基づき、以下の説明があった。

- 濃縮廃液上澄み水の対応状況について
- 地下水・雨水等流入量の算出方法について

○原子力規制庁は、上記説明内容を確認するとともに、以下のコメントを伝えた。

- 濃縮廃液上澄み水の対応状況について
溶液の由来及び濃縮過程で添加している試薬等について、その処理工程を含めあらためて分かり易く説明すること。
- 地下水・雨水等流入量の算出方法について
今後も引き続き地下水・雨水等流入量の算出精度向上に取り組むとともに、流入量の評価値が実挙動に照らして疑義と思われる場合には個別に報告すること。

○東京電力から、上記コメントについて了解した旨回答があった。

6. 資料

- 濃縮廃液上澄み水の対応状況について
- 地下水・雨水等流入量の算出方法について

以上